

Shanghai 通信

光市立島田中学校 教諭 小西史恵
(令和2年度派遣 中華人民共和国 上海日本人学校浦東校)

1 はじめに

令和2年の4月に上海日本人学校浦東校へ赴任予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実際に上海の地を踏むことができたのは10月でした。赴任までの半年間は、日本から Ding Talk というアプリを活用し、オンラインでの授業や学級活動を行っていました。基本的に朝の会と終わりの会、学活や道徳を通して、学級の生徒と交流を行いました。授業は、学年ごとの一斉授業でした。日本人学校へ登校できている生徒、私と同様に上海に戻ることができないため家庭でオンライン授業を受ける生徒、弾力的転入を行い、日本の学校で学習を進める生徒と様々でした。懇談会も実施しましたが、すべてオンラインで実施しました。オンラインでは、日常の生徒の様子を確認したり、個別の話をしたりすることが難しかったため、生徒との人間関係作りができるか不安でしたが、人懐っこい生徒が多く、対面してから短い期間ですが、様々な交流をすることができました。

2 オンライン授業

オンラインでの授業や学級活動を通して分かったことは、①授業でできることが限られる。例えば、音楽科の授業を行う際、同時に声を出すと、音が途切れてしまいます。また、時間差が生じたり、ネットワークの調子が悪いと切れたりします。②基本的に一方通行の学習になってしまう。生徒を指名し、答えてもらうことができますが、生徒同士の話し合い活動はできませんでした。③生徒一人ひとりの状況を把握することが難しい。日頃の何気ない会話や行動を通して人間関係を築いていきますが、限られた時間しかないため、伝えたいことが上手く伝わらないことがありました。オンライン授業を経験した生徒も対面での授業が楽しいと言っていました。当たり前前に学習できていたことの必要性和共にまだまだオンライン授業も実施していくことがあるため、授業内容の工夫が必要だと感じています。

3 上海日本人学校浦東校

上海日本人学校浦東校は、浦東新区に位置しており、小学部と中学部があります。上海日本人学校には虹橋校があり、虹橋校は小学部のみで、中学からは浦東校へ通ってきます。生徒はバスで片道1時間以上かかる場所からも登校しています。また、日本人学校で唯一の高等部も併設されています。現在、防疫対策の一環で、毎朝の健康報告、登校時の検温、朝の会の検温、昼食後の検温と実施し、37.3度以上の発熱がある場合は、兄弟も含めて、早退となります。また、本人が元気で家族の体調が悪く休む場合も登校することができません。その場合は、オンラインでの参加となります。校舎も朝夕、消毒の方がまわり、教室は、全ての窓15cmほど開けています。氷点下になる日もあり、エアコンをつけていても寒く、上着を着用して授業を受けています。校内へは、生徒、職員以外は入ることができないため、保護者の送迎も正門までになっています。私たち職員は、上海市から出ることが基本的に禁じられています。出た場合は、2週間自宅待機となります。生徒たちも同様に禁じられていませんが、上海市を出た場合は、2週間、学校へ登校することができなくなります。

様々な制限はありますが、生徒たちはできることを一生懸命に取り組んでいます。

4 上海七不思議

上海に来て驚いたことはたくさんありますが、その中から7つ挙げようと思います。

- ① 公共交通機関がとにかく安い。
- ② 財布がいない。
- ③ ガソリンスタンドが見当たらない。
- ④ 静電気がすごい。(乾燥している)
- ⑤ 12月から旧正月まではクリスマス。
- ⑥ スタバが多い。
- ⑦ カラスがいない。



【解説】

- ① 公共バスはどこまで乗っても2元(約30円)です。地下鉄も上海市内であれば、100円くらいで移動できます。タクシーも初乗り300円です。自宅まで片道20分くらいですが、500~600円です。
- ② どこに行っても、何を買っても全てスマートフォンを使用し、アプリでの決済ができます。アプリでなんでも出前ができます。買い物もタオバオというアプリを使用して、割高ですが、日本の商品を買うことができます。演奏会の入場券や映画のチケットもアプリ決済です。静安寺に行った時には、入館料や線香もアプリ決済です。願い事もアプリで行えます。上海で暮らすにはスマートフォンはなくてはならないものです。上海に来て、2か月現金を使っていません。
- ③ 2035年までに中国国内のガソリン車をなくすようになっているようです。電動バイクや電気バスが多く走っています。
- ④ 湿度が30%以下です。どこを触っても静電気が発生し、痛いです。
- ⑤ クリスマスが終わった後もクリスマスツリーが飾られ、街中ではクリスマスソングが流れてきます。
- ⑥ 街を歩くと100mごとにスタバがあります。上海はスターバックスの店舗数が世界一だそうです。
- ⑦ 色々な説はあるようですが、カラスを全く見ません。スズメもいません。不思議です。

4 最後に

上海に来て、5か月あまりのためまだまだ知らないことがたくさんあります。上海は生活をする上ではとても便利で過ごしやすいです。現在、3年生の担任をしており、進路に向けての対応に追われた日々を送っています。任された仕事に真摯に取り組みながらも、これから少しずつ中国語を学び、自分の世界を広げていきたいと思っています。



上海の冬は光市よりも寒く、氷点下の日にはタオルもカチカチに凍りました。寒いですが、雪は、ほとんど降ることはないそうです。